



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
学校だより 第7号
【発行日】 令和2年11月27日
【連絡先】 022-296-8101
【文責】 副校長 加茂 博行

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

職業について学ぶ 中学2年で「進路講演会」実施

11月12日（木）に2学年を対象に進路講演会が開催されました。この行事は、職場体験学習の代替として企画したものです。

進路講演会というと、講師の先生をお一人お招きして講話をいただくケースが多いのですが、生徒が聞いてみたい職業は多種多様です。そこで、どんな職業についている人たちの話が聞きたいかについて生徒にアンケートを取り、希望が多かった職業について、講師を保護者の方々に協力していただくことにしました。

当日お集まりいただいた方々は、河北新報社で記者をしている目黒光彦様、東北大学の乾健太郎教授、吉永一行教授、東北大学病院医師の石沢興太様、弁護士の佐藤由麻様、システムエンジニアの大浦真澄様の6人です。

生徒たちは、6人の講師の中から、話を聞きたい2人の講師の部屋を訪れて、45分ずつ話をうかがいました。講師の先生方のお話は、たいへん興味深い内容で、生徒たちはワークシートにびっしりとメモをとっていました。この行事は、生徒たちの社会に貢献したいという意欲を大いに刺激してくれたようです。6人の講師の方々に心から感謝いたします。



吉永教授のお話にも熱心に耳を傾ける生徒たち

学年PTAを開催 文化祭で生徒が作成した動画も上映

11月20日（金）に、今年度2回目となる学年PTAが開催されました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、保護者の方々とお会いする機会がめっきり減ってしまっています。学年PTAでは、実際に保護者の皆様と顔を合わせて、最近の生徒の様子や今後の行事の持ち方について説明することができました。今後も感染予防対策をしっかりと行いながら、生徒の貴重な学びの場や経験の場を必要以上になくさないようにしていきたいと思えます。

学年PTAに先だって、二華会館で生徒たちが文化祭のときに作成した動画の上映会を開催することができました。生徒たちが短い期間に一生懸命作成した動画を、保護者の方にも見ていただくことができ、たいへん良い機会となりました。



学年PTAに先立ち、文化祭の動画を上映

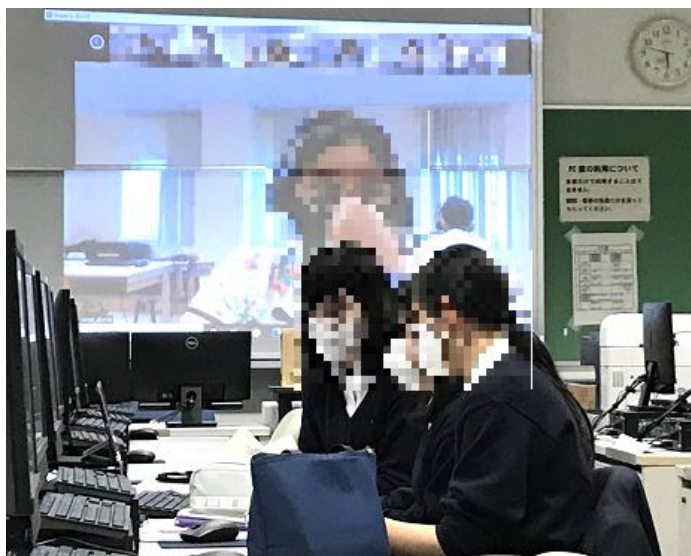
実際に会うことはできなかったけど シンガポール交流会を実施

10月22日(木)に本校のコンピュータ室において、シンガポールにあるウェストウッドセカンダリースクールとのWEB交流会が行われました。

本来であれば昨年度の3月に、本校の2年生の生徒16名がシンガポールを訪れて、ホームステイをしながらウェストウッド校の生徒たちと様々な交流を行う予定でした。本校とウェストウッド校とが話し合い、交流する生徒を14名から16名に増やして、交流を更に盛り上げていこうとしている矢先でしたが、新型コロナウイルスの影響が日に日に深刻となり、残念ながら中止とせざるを得ませんでした。

中止とはなったものの、その後も生徒同士はSNSやメールを使って交流を続けており、今回はその仕上げのセレモニーとして、WEB交流会を実施しました。生徒たちは画面に映るシンガポールのバディたちに手を振り、拍手をし、いつの日か実際に会うことを目標にしようと流暢な英語で話していました。

実際にお互いの国を行き来することは今年度も難しいですが、来年度以降、新型コロナウイルスの影響がなくなったときには、交流を再開します。今後もウェストウッドセカンダリースクールとの絆は大切にしていきたいと思えます。



画面越しに英語で交流を楽しむ生徒たち

東山魁夷の作品を間近で鑑賞 美術館学習を実施



アリスの庭で彫刻を鑑賞する生徒たち

10月28日(水)に1年生を対象に、美術館学習を行いました。この行事は、美術の鑑賞の授業の一環として毎年行っているものです。

例年だと、午前中は学校で授業を行い、午後の一斉に宮城県美術館に移動していましたが、今年は感染予防の観点から1クラスずつ時間をずらして入館することとし、午前中からクラス別に、八木山動物公園フジサキの杜、西公園、美術館をそれぞれ巡る日程に変更しました。

この日は天候にも恵まれ、動物園には仙台市内の幼稚園児や小学生なども来園しており、生徒たちも久しぶりの動物園を心から楽しんでいました。動物園では飼育係の方から動物園の役割や、飼育員の仕事などの説明を受け、生徒たちは動物の観察を通して多くのことを学んでいました。

美術館では「東日本大震災復興祈念 東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」が開催されており、多くの方々が来場していました。展示されていた五室にわたる大障壁画は、日本の風土の象徴としての海や山、鑑真和上の故国である中国の風景からなります。生徒たちは東山魁夷の叙情性のある名画の数々を間近に見ることができました。障壁画に夢中になって見入る生徒、鑑真の生涯をまとめた年表をじっと見つめる生徒、生徒それぞれに大きな学びがあったようです。本校のコンセプトの1つである「本物から学ぶ」を実践できた一日でした。